

アスモ・たんぽぽ新聞

平成21年12月発行

第51号



アスモ新聞はアスモのホームページ <http://www.asumo-kaigo.jp/> からご覧になれます。
上記のアドレスが【在宅介護センター・アスモ】で検索してください。

〒165-0026
中野区新井1-26-4
オスカーマンション2F

「人に喜ばれる仕事を！」のアスモは、みなさまとの新たな出会いをお待ちしております。

☎03-5318-4007

「僕は働いたのになんで……」
辺りも暗くなってきた、少年は
心細くなり、家に帰ることにしました。



少年が小学5年生の時にクラスでこんな話がありました。「お小遣いいくら貰ってる?」「……少年は貰っているはずもなく、黙って話を聞いていると、ある子供が言いました。「僕ね、お手伝いをしたらお小遣いももらえるんだ。この間もプラモデル買った」「……少年は思いました。「そうかー僕も毎日お手伝いしてるから、お小遣いをもらおう」



代表取締役 花堂浩一

「おこづかい」
何かで読んだ話です。
あるところに少年と母親だけで助け合い、貧しいながらも楽しく暮らしている家族がありました。

少年が罰が悪そうに家に戻ると母親がいつも通り「おかえり」と言ってお飯の準備をしていました。少年は黙って家に入りました。夕食のトキも会話はありません。少年は「こちそうさま」と一言だけ言って、自分の部屋に行きました。

すると机の上に何か載っています。900円です。そして隣には紙が。「請求書 夕食……0円 熱が出たときの看病……0円 忘れ物を届ける……0円 合計0円」と書いてありました。お母さんが今まで自分にしてきてくれた事が一気に頭中に溢れてきました。そして紙の最後に「これだけしかあげられなくてゴメンね。」と書いてありました。少年は初めて支えあうことの意味を知りました。次の日母親が起きると食卓の上に少年からの手紙が。

「お母さんへのお小遣い」
それと一緒に昨日の900円も入っていました。

先日、中野区立第三中学校の生徒さんが、福祉体験実習に来られました。どのお子さんも優しく素晴らしいお子さんたちでした。親の心子知らず。私も今思えば、心当たりのあることが多過ぎ、こつこつ話を聞くたびに反省しきりです。いつの時代にも言えることなのかも知れませんが、実習生には、身近な「両親に対して感謝する心を持つ人が、地域や社会が真に必要なとする人なのだ」ということをお話するように心がけています。



アスモ・たんぽぽ合同勉強会のご報告

平成21年11月28日（土曜日）18時～

花堂所長の話、シニア情報センターのお知らせに続き、インフルエンザの予防接種が行われました。その後4～5人ずつのグループに分かれてグループディスカッションをしました。

困難な事例を挙げて、イライラの解消法、ご家族との折り合いへの対処法など、グループ毎に意見を出し合い、発表しました。ベテランのヘルパーさん方から予想外の素晴らしい知恵が出され、とても充実した勉強会となりました。

お忙しい中、お時間を割いて集まってくださいましたヘルパーさん方、ありがとうございました。





中野区立第三中学校生徒さんの福祉体験



今日は、福祉体験にアスモに来て最初はすごくきんちょうしてガチガチだったのですが、話しをしているうちにゆるんできて聞くことができました。介護にも種類があって、要支援、要介護があってその他にも段階があったりとわかるのも大変だと思いました。訪問先の方も優しく教えてくださったりうれしかったです。自分が考えていることを教えてもらったりいい物がありました。1人ひとりの予防たいさくも大切だけど、心がけも大切だと思いました。アスモの方々も優しくして下さって車イスにも載せてもらいながらとても楽しく学ぶことが出来ました。また、機会があったらお手伝いしたいと思っています。(■井 ■美)



最初に、福祉体験と聞いた時、すこしいやだな。と思ってしまいました。それは、テレビなどで、介護の大変さをみた事があるからです。でも、今日体験してみて、すごく楽しかったし、全然いやじゃありませんでした。体験先の方は、80代なのにすごく元気で、お話しyouずで私達に色々、わかりやすく教えてくれました。家もすごくきれいで、全然ヘルパーの力をかりて生きているとは思えないほどでした。

在宅介護センター・アスモさんの従業員の方々もとても優しくして下さって、明るくとても面白くて接しやすかったです。花堂さんは、今の時代の高齢者問題について話していただきすごく考えさせていただきました。たとえば、未来の日本は、すごくお歳よりが増えて、日本人の3人に1人はお歳よりになるとききました。それはすごく大変な事だと思います。働く人もいなければいけないのにお歳よりの介護もしなくちゃいけないなんてすごく忙しいと思います。なので、今からなんとかしたいと思っています。

今回の体験をとおして、色々な新しい事を学びました。すごく良い体験になりました。ありがとうございました!!! (■川 ■羅)



以前、テレビで在宅介護の密着取材を見たことがあり、大変な仕事なんだなあ、という印象がかねてからありました。だからこそ、在宅介護センター・アスモで福祉体験をさせていただくことになって、どんな感じの仕事をするのかな、と心待ちにしていました。

実際、お宅にお邪魔して、高齢者の方々のお話を聞いて、調べただけではわからない、介護を受けている本人の気持ちや不満な点などもわかりました。佐野さんも、山中さんも、80代という年になってもお元気で、とても生き生きとした生活をおくってらっしゃるようで介護は、とても良い仕事だなあ、と身に沁みて感じました。

花堂さんのお話でもあったように、介護には社会的にもメリット、デメリットが存在します。高齢者の方々の元気が損なわれてしまうならば、介護はもしかしたららない方が良くもしいないといった考えもあるようです。今回、ここ在宅介護センター・アスモで介護の体験をして、得られたものは多く、とても大きくこれからの私の生活に反映していくと思います。本当にありがとうございましたっ!!! (■井 ■)

最初に、花堂さんの話を聞いたとき、介護は、とても忙しい仕事で、年々、ヘルパーさんの数が減っていき、高齢者の方々がどんどん増加していて、社会問題になっていることを改めて分かりました。

実際にお歳寄りのお宅におじゃまして、介護の様子を見させてもらって、掃除の手順をしっかりと覚えて、すみずみまでキレイにして、高齢者の方のために協力しているところが、とても良いなあと思いました。

社会をよりよくするためには、若い人たちが、高齢者の人たちに、もっと協力して、ヘルパーさんになる人が増えるといいと思いました。(■田 ■や■)

第三中学の生徒さんおつかれさまでした。中学生らしさを伝える為、原文のままの文章を載せさせていただきました。また、個人情報保護の為、お名前とお顔は伏せさせていただきました。快くご協力くださった佐野様、山中様、矢島ヘルパー、加藤(浩)ヘルパーありがとうございました。

